



FIWA 新正会員紹介 「この子らを世の光に」を目指して

寄稿：住山 志津枝氏

(素晴らしい活動をしている住山志津枝さんが FIWA 認定正会員になりました。以前から感動をもって住山さんの仕事を見ていました。障がいのある子どもも金融知識を必要としていることは誰とも異なりません。住山さんの教室に参加するとその日のうちにお金を数えられるようになり、買い物ができるようになるといいます。マジックのようです。本当に子どもの心の深い部分に触れる話と気迫が伝わるからでしょう。それはまさに大人向けのアドバイザーが目指すものです。アドバイスで行動が変わる。まさに FIWA のアドバイザーの目指すところ。住山さん、一緒に世の中を良くしていきましょう。岡本和久)



住山 志津枝氏 プロフィール

滋賀県東近江市出身、京都市在住

お金で学ぶさんすう® 理事長

・ファイナンシャル・プランナー（日本 FP 協会認定 CFP®/1級 FP 技能士）

・FIWA 認定正会員

出身校：大阪会計専門学校 税理士学科

障がいのある子専門のファイナンシャル・プランナーとして買い物と料理を教材に「使える算数」を教える活動を展開。お金を計画的に使う力を子どもの時から養うことにより将来の生きる力、働く力が養成されると主張。

私自身も発達障がいのある子の母親です。独特なコミュニケーションに困ったり、笑ったり、不登校を経験しながらユニークな子育てを頑張っています。そんな私も、最初は我が子の障がいを受け入れられず泣いてばかりいました。何度行っても再検診の通知をもらう乳児健診。傷つくのがイヤで、検診をサボりました。母子手帳は時期が来ても「できる」に○がつかず、見るのがつらくて母子手帳を封印しました。





長期投資仲間通信「インベストライフ」

そんな期間を経て、少しずつ自分の子の障がいに向き合えるようになりました。療育に通いたくさん勉強し、毎日の生活は支援活動そのものになりました。子どもと向き合う暮らしの中で気付いたことがあります。『就労支援はたくさんあるけれど、稼いだお金の使い方を障がいの特性に合わせて教えてくれる人がいない』ということです。そこで、障がいのある子供たちに正しいお金の使い方の教育をしようと思いました。子育てしながら勉強しファイナンシャル・プランナー資格を取得しました。

お金は、包丁と同じ特性を持っています。正しい使い方をすれば、ひとを幸せにする道具ですが、誤った使い方をすれば、ひとを傷つけてしまう道具です。子供たちにとって、お金を稼ぐことは将来の話ですがお金を使うことはもう始まっています。お金の計算力とお金の管理、やりくり力は別物です。

「この子らを 世の光に」

これは障がいのある方の支援に生涯をささげ「福祉の父」とも呼ばれた滋賀県立近江学園の糸賀一雄氏の言葉です。障害者支援のイメージは「この子らに」世の光を」と思われがちですが、そうではありません。「を」と「に」が入れ替わるだけで全く意味が異なります。障がいのある方こそが「世の光」なのです！！

私は「お金で学ぶさんすう®」という非営利団体で、障がいのある子供たちへの教育を行っています。「この子らを世の光に」を、お金の教育を通じて実現させる事が私の生涯をかけた夢であり目標です。

私の活動は FIWA の皆さんには「異業種からの参入？」と思われるほど、お金とはかけ離れて見えるかもしれません。「数とは何か？」を語るならまだお金に近いかもしれませんが、何せエプロン姿で子供たちとお料理をしているのですから(笑)。



ですが自分なりに FP として障がいのある子供たちに向き合ってきました。今年 2 月に開催された FIWA 設立記念講演で理事のみなさまのお話をお聞きし、1 人の FP として「素晴らしいご活動だ」と思い、早速 FD 宣言を作ろうと思いました。

そう考えたのは、「FP って保険とか売る人でしょ？」と警戒されたり、「FP？初めて聞いた！」とおっしゃる方もいたりして、FIWA のご活動は正しく FP を知ってもらい良い機会になると感じたからです。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

しかし、私にとって FD 宣言は予想以上に難しいものでした。私の活動は 100%お金で学ぶさんすう®の活動です。当団体は学校教育との連携が強みで、会員の半数以上は特別支援教育の先生方という特色を持っています。私自身も重度知的障がいのあるお子さんの指導を得意としており、FP 知識は関係ないと言っても過言ではありません。

試しにお金で学ぶさんすう®のホームページに FD 宣言を載せてみたら、見事に違和感だらけです(笑)!! FP への正しい理解が、そこまで大きく活動に支障をきたしている実感もなかったため、「自分には必要ないかな?」と放置していました。

そのような状態にもかかわらず、私が入会に至ったきっかけは FIWA の理事長である岡本さんからお声掛けをいただいたことです。FIWA へのお誘いに対し、私は率直に「教育活動が中心なので」とお伝えしました。すると岡本さんは「教育活動こそ相談業務だ」とおっしゃり、FIWA とお金で学ぶさんすう®の活動の共通点を以下のようにお伝え下さいました。

- ・ FIWA であるためには、FP である必要はない
- ・ 『当協会(FIWA)は、生活者が経済的束縛から解放され豊かで幸せな人生を実現するための支援活動を行います』を満たしていればいい
- ・ 言うまでもなく「生活者」には障がいのある子も含まれている

これに続いてつづられた次の言葉が、私の心を大きく動かしました。

「彼ら、彼女ら(障がいのある子供たち)が豊かで幸せな人生を実現するための支援活動を行うことは、まさに『お金で学ぶさんすう®』のビジョンでもあるでしょう?ですから FIWA のビジョンと一致しているのです。」



私は「ほかの FIWA の皆さんと違ってよいから、自分らしい FD 宣言を作ろう」と決心しました。分かりやすさにこだわり、金融庁で公表されている「顧客本位の業務運営に関する原則」を自分の言葉に置き換えていきました。

FIWA の正会員資格は私個人に与えられるものだと言われましたが、私の活動はお金で学ぶさんすう®の活動に直結するため無視はできません。どのように両者のバランスを取るかを模索しました。FD 宣言の作成にあたり、FIWA 理事の皆さんをはじめ、お金で学ぶさんすう®運営に関して助言・サポートをして下さる京都市市民活動総合センターのご担当者さん、そして当団体理事の仲



長期投資仲間通信「インベストライフ」

田も含め、多くの方に助けていただきました。

私は自身の活動拠点である京都の土地柄に期待を抱いています。

京都市には、明治政府が今の学校教育制度をスタートさせる以前より、「かまど金」という地域の方のご寄付によって設立・運営された64の「番組小学校」がありました。現在の小学校制度の先駆けとなった学校です。

お金で学ぶさんすう®は、地元である京都市立白河総合支援学校さんとお金の連携教育をスタートして2年目に入っています。教育のプロである先生方と、お金のプロであるFPが手を取り合い、成果を出すことで、番組小学校が全国の小学校制度の先駆けとなったように、京都からスタートした障がいのある子供たちへのお金の教育が、全国の先駆けになることを夢見ています。

私はお金に関して3つの価値観を大切にしています。

- (1) 信頼(お金は信頼で成り立っています)
- (2) 個性(お金は稼ぎ方にも使い方にも個性があります)
- (3) 豊かさ(自身の内側からあふれ出て、循環を作り出します)

これらは私が大切にしている教育観そのものでもあります。私はお金の教育を通じて子供たちを信じて見守り、子供たちの個性を輝かせ、子供たちがいきいき、笑顔で、豊かに暮らせる教育の実現を目指して活動をしています。岡本さんからいただいたお言葉の通り、FIWAとお金で学ぶさんすう®のビジョンは繋がっています。

これらは全て子供たちから教わったことですが、私たち大人も含め、誰にも通じることではないでしょうか?「この子らを世の光に」です!!きつと(笑)



「アドバイザー」とは異なるかもしれませんが、特別支援教育が専門である私を FIWA のメンバーとして受け入れて下さったことに心より感謝



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

するとともに、私なりの「この子らを世の光に」の実現を FIWA のみなさまにサポートしていただけることを心強く感じています。

今後は FIWA の名に恥じぬよう、より一層精進して活動を続けます。どうぞよろしくお願い致します。

住山さんの FD 宣言は以下でお読みいただけます。

https://okane-sansuu.com/fiduciary_duty/

